

焼津市日中一時支援利用基準額

障害支援区分		30分超 1時間以下	1時間超 2時間以下	2時間超 3時間以下	3時間超 4時間以下	4時間超 5時間以下	5時間超 6時間以下	6時間超 7時間以下	7時間超 8時間以下
障害者	区分1	42単位	83単位	125単位	166単位	208単位	249単位	291単位	332単位
	区分2	42単位	83単位	125単位	166単位	208単位	249単位	291単位	332単位
	区分3	48単位	95単位	143単位	190単位	238単位	285単位	333単位	380単位
	区分4	53単位	106単位	159単位	212単位	264単位	317単位	370単位	423単位
	区分5	64単位	128単位	192単位	256単位	320単位	384単位	448単位	512単位
	区分6	75単位	151単位	226単位	301単位	376単位	452単位	527単位	602単位
	重症心身 障害者・ 強度行動 障害者	220単位	440単位	659単位	879単位	1,099単位	1,319単位	1,538単位	1,758単位
障害児	区分1	42単位	83単位	125単位	166単位	208単位	249単位	291単位	332単位
	区分2	50単位	101単位	151単位	201単位	251単位	302単位	352単位	402単位
	区分3	64単位	128単位	192単位	256単位	320単位	384単位	448単位	512単位
	重症心身 障害児・ 強度行動 障害児	220単位	440単位	659単位	879単位	1,099単位	1,319単位	1,538単位	1,758単位
遷延性 意識障害者等		109単位	137単位	275単位	412単位	549単位	686単位	824単位	961単位

※8時間超の利用に係る単位数については、8時間を超えた分の利用時間の単位数を7時間超8時間以下の単位数に合算してください。

■利用者負担額の計算

サービス単位数＝単位数×提供回数

総費用額＝サービス単位数合計×単位数単価（小数点以下切り捨て）

利用者負担額＝総費用額×1割（小数点以下切り捨て）

※生活保護を受けている人はかかりません。

※単位数単価 7級地 10.18円（平成30年度～）

■利用日数の換算

利用時間	換算日数
30 分超 1 時間以下	1/8 日
1 時間超 2 時間以下	2/8 日
2 時間超 3 時間以下	3/8 日
3 時間超 4 時間以下	4/8 日
4 時間超 5 時間以下	5/8 日
5 時間超 6 時間以下	6/8 日
6 時間超 7 時間以下	7/8 日
7 時間超 8 時間以下	8/8 日 (= 1 日)

※ 8 時間超の利用に係る換算日数については、8 時間を超えた分の利用時間の換算日数を 7 時間超 8 時間以下の換算日数に合算してください。

備考

- 1 「区分 1」から「区分 6」までの区分とは、障害支援区分に係る市町村審査会による審査及び判定の基準等に関する省令（平成 26 年厚生労働省令第 5 号）に規定する障害支援区分をいう。
- 2 「重症心身障害者」とは、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成 18 年厚生労働省告示第 523 号）の第 5 の 1 の注 1 の(1)又は(2)に規定する障害者をいう。
- 3 「重症心身障害児」とは、重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している障害児をいう。
- 4 「強度行動障害者」とは、1 の障害支援区分の認定調査項目のうち行動関連項目等（12 項目）の合計点数が 10 点以上である障害者をいう。
- 5 「強度行動障害児」とは、厚生労働大臣が定める児童等（平成 24 年厚生労働省告示第 270 号）の第 1 の 4 に規定する障害児をいう。
- 6 「遷延性意識障害者等」とは、遷延性意識障害者（児）又はこれに準ずる障害者（児）若しくは医師により筋萎縮性側索硬化症等の運動ニューロン疾患の分類に属する疾患を有すると診断された障害者（児）をいう。
- 7 1 単位の単価は、「厚生労働大臣が定める一単位の単価」（平成 18 年厚生労働省告示第 539 号）から得た額とする。